

科目名		ITリテラシー							年度	2025	
英語科目名		IT literacy							学期	前期	
学科・学年		情報処理科 1 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員		山下 恵子			教員の実務経験			実務経験の職種			
【科目の目的】											
本講義では、システム開発の流れを理解した上で、kintoneの基本操作について学ぶ。そして、業務課題を解決するためには、どのようなシステムを構築するのか、事例を通して個人及びグループで考え、業務システムアプリを作成する。グループワークでは、1 チーム3名程度とする。最終日には、各チームで作成した業務システムアプリについて発表する。											
【科目の概要】											
現在の情報社会では、各種の業務で情報システムを活用することが増加している。従来の情報システムの役割はデータ管理と定型業務の自動化による効率化が主であった。しかし、今後はデータ取り込みと情報共有手段としての役割がさらに重要になってくる。最近では情報システムの専門家でなくとも、業務に精通していれば、容易にクラウドを活用してシステム開発できるようになった。プログラミング経験が無くても容易に情報システムを構築できる、サイボウズ社のクラウドサービス「kintone」を用いてシステムの開発手法を学ぶ。											
【到達目標】											
kintoneの基礎知識を習得して、業務改善に役立つアプリ開発ができるようにする。											
【授業の注意点】											
本講義では学生の主体性を重視し、定期的に課題の提出を実施する。また、グループで考え、発表する作業があるため全員が積極的に参加し、時間内で効果的に作業を進める意識が肝要である。社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。パソコンを忘れずに持参すること。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力						
到達目標 A	kintoneの基本概念を理解し、その内容を他の学生に教えることができる。	kintoneの基本概念を理解し、その内容を説明することができる。	kintoneの基本概念を理解している。	kintoneの基本概念を理解しようと努力をしている。	kintoneの基本概念を理解していない。						
到達目標 B	kintoneの基本操作ができ、その内容を他の学生に教えることができる。	kintoneの基本操作ができ、その内容を説明することができる。	kintoneの基本操作ができる。	kintoneの基本操作ができるよう努力をしている。	kintoneの基本操作ができない。						
到達目標 C	kintoneアプリに関数などの計算式を設定でき、その内容を他の学生に教えることができる。	kintoneアプリに関数などの計算式を設定でき、その内容を説明することができる。	kintoneアプリに関数などの計算式を設定できる。	kintoneアプリに関数などの計算式を設定できるよう努力をしている。	kintoneアプリに関数などの計算式を設定できない。						
到達目標 D	kintoneアプリにプロセス管理を設定でき、その内容を他の学生に教えることができる。	kintoneアプリにプロセス管理を設定でき、その内容を説明することができる。	kintoneアプリにプロセス管理を設定できる。	kintoneアプリにプロセス管理を設定できるよう努力をしている。	kintoneアプリにプロセス管理を設定できない。						
到達目標 E	グループワークでこれまで学んだ内容を反映したアプリを作成することができ、分かりやすく発表できる。	グループワークでこれまで学んだ内容を反映したアプリを作成することはできるが、発表内容が分かりづらい。	グループワークで必要最小限のアプリを作成し、その内容を発表できる。	グループワークで必要最小限のアプリを作成したが、発表できなかった。	グループワークでアプリを作成できず、発表できなかった。						
【教科書】											
授業毎に資料を配布する。											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】											
課題 60% 提出した課題を総合的に評価する 成果発表 30% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		ITリテラシー			年度	2025
英語表記		IT literacy			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ノーコードプログラミングとは	ノーコードプログラミングの必要性が理解できる	1 ノーコード・ローコード	ノーコード・ローコードの利点が理解できる	1	
			2 kintone概要	kintone概要の概要が理解できる		
			3 プログラム体験ゲーム	「順次処理」と「繰り返し処理」を理解することができる。		
2	kintone基本操作	kintone基本操作が理解できる	1 アプリの作成方法	アプリの作成方法を理解できる。	1	
			2 日報アプリの作成	日報アプリを作成することができる。		
			3 学習報告書アプリの作成とデータ入力	学習報告書アプリを作成し、データ入力することができる。		
3	テーブルの設定方法	テーブルの設定方法が理解できる	1 日報アプリを用いて一覧表の作成	日報アプリを用いて一覧表を作成することができる。	1	
			2 テーブルの設定方法	テーブルを設定し注文管理アプリを作成できる。		
			3 タイムカードアプリ作成	要件定義書からタイムカードアプリを作成することができる。		
4	計算式の設定	計算式を設定することができる	1 注文管理アプリの作成	小計・合計金額を設定し、注文管理アプリを作成できる。	1	
			2 タイムカードアプリ編集	勤務時間数を自動入力し、タイムカードアプリを編集できる。		
			3 お問い合わせアプリの作成	要件定義書からお問い合わせアプリを作成できる。		
5	IF関数の設定	IF関数を設定することができる	1 注文管理アプリの編集	IF関数を設定し、注文管理アプリを編集できる。	1	
			2 IF関数練習アプリの作成	関数を設定し、IF関数練習アプリを作成できる。		
			3 ホテル管理予約アプリの作成	要件定義書からホテル管理予約アプリを作成できる。		
6	関数の設定	関数を設定することができる	1 計算練習アプリの作成	文字列の結合、DATA_FORMAT関数、ROUND関数を使用し、計算練習アプリを作成できる。	1	
			2 カーシェア予約管理アプリの作成	仕様書からカーシェア予約管理アプリを作成できる。		
7	グラフ作成	グラフを作成することができる	1 グラフ作成練習①	ダミーデータを入力しグラフ作成練習アプリを作成できる。	1	
			2 修了試験成績管理アプリ及びグラフの作成	仕様書から修了試験成績管理アプリ及びグラフを作成できる。		
8	ルックアップ機能の設定	ルックアップ機能を設定することができる	1 グラフ作成練習②	ダミーデータを使用しクロス集計表を作成できる。	1	
			2 注文管理アプリを作成	ルックアップ機能を設定し、注文管理アプリを作成できる。		
			3 受注管理アプリ	仕様書から受注管理アプリを作成できる。		
9	関連レコード一覧の設定	関連レコード一覧を設定することができる	1 受注管理アプリ編集	関連レコード一覧を設定し、受注管理アプリを編集できる。	1	
			2 顧客管理アプリ作成	関連レコード一覧を設定し、顧客管理アプリを作成できる。		
			3 面談シートアプリ作成	仕様書から面談シートアプリを作成できる。		
10	プロセス管理設定①	状態遷移図をもとにプロセス管理を設定することができる	1 状態遷移図の作成	プロセス管理を設定するために状態遷移図を作成できる。	1	
			2 備品購入申請アプリ設定	状態遷移図をもとに備品購入申請アプリのプロセス管理を設定できる。		
			3 新卒採用選考管理アプリの設定	新卒採用選考管理アプリのプロセス管理を設定できる。		
11	プロセス管理設定②	状態遷移表をもとにプロセス管理を設定することができる	1 状態遷移表の作成	プロセス管理を設定するために状態遷移表を作成できる。	1	
			2 備品購入申請アプリ設定	状態遷移表をもとに備品購入申請アプリのプロセス管理を設定できる。		
			3 予算使用申請アプリの作成	仕様書から予算使用申請アプリを作成できる。		
12	新規アプリ作成①	設定機能を利用し新規アプリを作成できる	1 状態遷移図の作成	プロセス管理を設定するために状態遷移図を作成できる。	1	
			2 状態遷移表の作成	プロセス管理を設定するために状態遷移表を作成できる。		
			3 講義欠席届のアプリ作成	学生リストと科目担当リストをもとに講義欠席届アプリを作成できる。		
13	新規アプリ作成②	設定機能を利用し新規アプリを作成できる	1 状態遷移図・表の作成	プロセス管理を設定するために状態遷移図・表を作成できる。	1	
			2 講義欠席届のアプリ作成	学生リストと科目担当リストをもとに講義欠席届アプリを作成できる。		
			3 見積書アプリの作成	シナリオをもとに見積書アプリを作成することができる		
14	データベースとしてのkintone	データベースの機能を理解することができる	1 データベースについて	データベースの機能を理解できる	1	
			2 販売管理アプリの作成	Excelでデータ管理していた「販売管理」をkintoneアプリとして作成できる。		
			3 販売管理アプリへのデータ登録	アプリに取引データを登録することができる。		
15	成果発表	作成したアプリについて発表ができる	1 成果発表	グループワークでこれまで学んだ内容を反映したアプリを作成することができる、発表できる。	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等